

## 花きに関する技術対策

- ア 被害程度が大きい(ハウス全壊や半壊)場合は、安全を十分に確保してから被覆資材・骨材を撤去し、修復を行いません。
- イ 被害程度が軽微(被覆資材の破損等)で、作物の栽培が継続可能な場合は、できるだけ早期に施設の破損の補修を行ない、温度確保に努めます。
- ウ 施設内に融雪水や雨水が浸水した圃場では、換気を図るなどして湿度の低下に努めます。また、根傷みにより草勢が低下しやすくなるため、液肥の葉面散布を行い草勢の回復を図ります。
- エ 病害の発生が懸念されますので、損傷した茎葉の除去や薬剤散布など、防除対策に努めます。
- オ トンネル栽培などでは、強い日射しでの葉焼けに注意します。
- カ 生育初期の作物が被害を受けた場合は、予備苗による植替えや再播種を行い、被害の軽減に努めます。